

伯和西兩時報

將に暮んごする

一九三四年

年々盛り、多幸多福な望まぬこと
可決されたのは、如何にも残念な事項であつたのだ。が、然し不幸の中の幸さも云ふべきこそ、憲法制定議會へ提出が投出され、有る事、無い事を大袈裟に述べ立てられた掲句。ミケル、コート氏提出の移民二分割限界が、驚くあつたが、国民大多数は殆んど無関心で、民心の反映とも云ふべき議會では斯くのみに非ず。何等興味を有ないのみならず、却つて日本移民を掲揚したことである。

殊に政治上から云ふならば、憲法は、如く日本が投出され、憲制議會へ提出が投出され、憲制議會は斯くのみに非ず。何等興味を有ないのみならず、却つて日本移民を掲揚したことである。

【東京廿一日】華府條約廢棄案を審議する歴史的権威本會議は十九日午前十一時天皇陛下御臨のものに開かれ、全會一致をもつて御諮詢案を可決した。右可決案は御裁可となつて直ちに政府に御下渡しとなり、政府は此處に華府條約廢棄の國內手續きを完了し、零零時二十分開議を開催、岡田首相以下全閣僚出席し、廣田外相は先づ華府條約廢棄通告の御訓電を發し、適當なる折を見て、英外相サイモン卿並米國々務長官コーデル・ハル氏に通告すべく訓令した。

斯くて華府條約は一九三六年末をもつて完全に廢棄となる譯であるが、廣田外相は通告と共に帝國の立場を聲明書に託して發表し、我が帝國は茲に華府條約を廢棄したが、今後安當適切なる新軍縮案の實現に努めるものである旨を述べた。

華府條約遂に破棄

廿日・駐米・英大使に訓電飛ぶ

【東京廿一日】現行華府條約の廢棄は、米國の太平洋防備制限から離脱したもので、今後米國は自由な立場でアラスカ、フィリピンを含む太平洋の防備を強化するところの如き意見を表明してゐる。

【東京廿一日】スワントン海軍長官は左の如き意見を表明してゐる。

【東京廿一日】英國も頗る冷感的である。

【東京廿一日】日本は左の如き意見を表明してゐる。

【東京廿一日】米國海軍は永久に敵として存在する國防、商工業の擁護のため

【東京廿一日】日本は左の如き意見を表明してゐる。

【東京廿一日】英國も左の如き意見を表明してゐる。

【東京廿一日】米國は左の如き意見を表明してゐる。

【東京廿一日】英國も左の如き意見を表明してゐる。

【東京廿一日】米國も左の如き意見を表明してゐる。

【東京廿一日】英國も左の如き意見を表明してゐる。

聯邦通商貿易評議會

組上に載る幾多の重要問題

戻税の草案提出となる

去る十七日(月曜日)によつてイ

ダマラナイ宮に於て聯邦通商貿易評議會が開催され、議長たるべきセ大統領が南河の旅程における為

セバスチオ・サンバイオ委員がその席に代り、マセド・ソアレス外相、メナロン、ラガ農相の出席があつて討議事項に入つたが、議事録には兩相に繋る問題の多きに亘り兩相の意図は注目された。

先づ駆頭の船の問題に關しては木曜日開催される生産物運輸税率が農相の意見は注目された。

木曜日會議に就いても、具體的討議は木曜日會議に延ばされ、御非格付問題は、研究會員たるトレス・フィリオ氏の腹案は準備さ

れてあるといふ回答でこれも木曜

の會議に延期され、議長たるべき連邦宣傳委員會の創立を要す。

州執政官より報じて来て、これで

州通商宣傳委員會は十六箇を數へるに到つた。

右問題の外英國に於ける伯國度内問題、獨逸企業會社がアマンに譲讓工場設立問題、相手紙

問題等提出されたが具體的決定事項はみず、最後に、Draw Back、戻

税問題に就いて研究會員たるレフ

オル・ア・アリット氏が十六ヶ條に

亘る草案を提出してこの採擇は伯

國輸出振興政策に關係あるものな

るが故に注目されて居る

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

